

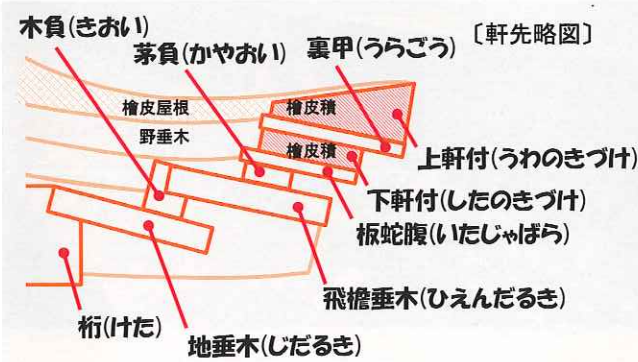
# 本来の姿にもどる 富士浅間宮本殿

昭和 25 年 8 月 29 日に重要文化財に指定された富士浅間宮本殿は、天正 18 年(1590) 建立されてから、およそ 40 年おきに屋根葺替などの修理が行われてきた記録が残ります。

前回修理から 38 年ぶりとなる屋根葺替の修理が、平成 30 年 2 月から行われ、秋には創建当時頃の姿へと蘇ります。

## 富士浅間宮本殿の歴史

富士浅間宮は坂上田村麻呂が奥州進軍の時に、富士浅間の神力によって勝利を納めたことに感謝するため建立され、後に現在の名に改めたと伝えられています。天正 18 年(1590)地頭の本間重泰によって社殿が寄進され、寛永 15 年(1638)北条氏重が現在の場所に移したと伝えています。その後、寛文 3 年(1663)、宝永 5 年(1708)、安永 4 年(1775)、文政 12 年(1829)、嘉永 4 年(1851)、文久元年(1861)、大正 4 年(1915)、昭和 24 年(1949)、昭和 55 年(1980)に屋根の葺き替えや修理が行われた記録が残ります。明治 40 年(1907)には特別保護建造物、国宝保存法によって国宝に、昭和 25 年(1950)文化財保護法によって重要文化財に指定されました。

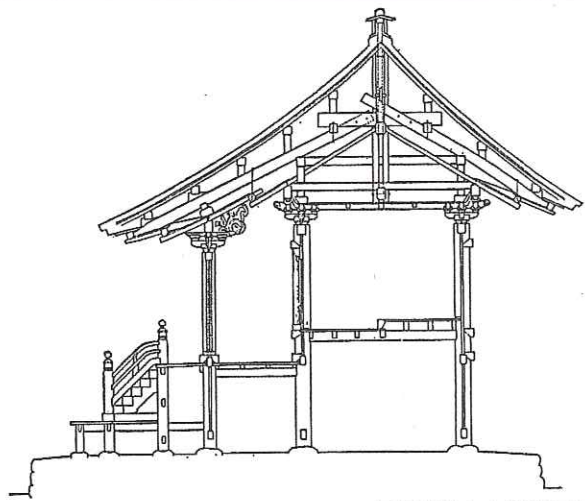


# 重要文化財 富士浅間宮本殿 保存修理工事現場見学会

平成 30 年 7 月 29 日



袋井市教育委員会  
宗教法人 富士浅間宮



富士浅間宮本殿断面図



富士浅間宮本殿古写真

## 修理直前の屋根



## 解体中



## 富士浅間宮本殿の形と大きさ

この重要文化財「ふしせんげんぐうほんでん富士浅間宮本殿」は、木はなさくや花開耶姫命を祀る社殿として建立された、まつ檜皮葺屋根の三間社流造と呼ばれる形式の建築物です。本殿ははりま梁間4.103m、けたゆき桁行4.103m、高さ7.121m、屋根面積72.611㎡の建物です。

さんげんしゃながれづくり時期の判明している三間社流造の社殿しゃでんでは静岡県西部では最も古い時期の建築物です。

## 修理前

